

## 令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
国語	論理国語	3	英語系 医療看護系 理数系	必修	2
使用教科書 副教材等	「探求 論理国語」(桐原書店)・「近代文学四選」(桐原書店)				
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。				

### 授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	論文を読む ベルリンの「内」と「外」 —「舞姫」を通じて  評論Ⅱ 身体と出現	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、小説を読み解く視点を広げる。</li> <li>文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自らを取り巻くものと身体の間わりについて考えを深める。</li> </ul>
二学期中 間考查まで	評論Ⅱ 市民社会化する家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、近代化・都市化によって生じた家族や人間の存在についての認識や考察を深める。</li> </ul>
二学期末 考查まで	評論Ⅳ ポストモダンと排除社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自らの文化や世界に対する見方を見つめ直し、現代をどう生きていくかについて考える。</li> </ul>
学年末 考查まで	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代文の実践的な読解方法を身に付ける。</li> </ul>
評価方法	知識・技能…ノートへの書き込み、小テスト、ワークシート、定期考査 思考・判断・表現…授業への参加姿勢や態度、授業の発問への反応、ノートへの書き込み、ワークシート、定期考査 主体的に学習に取り組む態度…学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況	

# 令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
国語	古典探究	3	医療看護系 理数系	必修	2
使用教科書 副教材等	高等学校 古典探究 (数研出版)				
学習目標	我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めるとともに、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

## 授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期 末 考 査 ま で	歴史物語 大鏡 南院の競射 思想 莊子 曳尾於塗中 日記文学 蜻蛉日記 うつろひたる菊 史伝 荊軻 風蕭蕭として易水寒し	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き手の考え・目的・意図を捉えて解釈を深める。</li> <li>先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。</li> <li>作品に表れる考え方をふまえて考えを深めるとともに、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。</li> <li>作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。</li> </ul>
二 学 期 中 間 考 査 ま で	物語 源氏物語 車争ひ 史伝 荊軻 図窮まりて匕首見る	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典の作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げ、深める。</li> <li>作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。</li> </ul>
二 学 期 末 考 査 ま で	日記文学 和泉式部日記 薫る香に 漢詩 古体詩 飲酒	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品に表れる考え方をふまえて考えを深めるとともに、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。</li> <li>古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを深める。</li> </ul>
学 年 末 考 査 ま で	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典の実践的な読解方法を身に付ける。</li> </ul>
評 価 方 法	知識・技能…ノートへの書き込み、小テスト、ワークシート、定期考査 思考・判断・表現…授業への参加姿勢や態度、授業の発問への反応、ノートへの書き込み、ワークシート、定期考査 主体的に学習に取り組む態度…学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況	

# 令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	地理探究	3	医療看護系 理数系	必修	2
使用教科書 副教材等	新詳地理探究（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院） 新詳地理資料 COMPLETE 2023（帝国書院）、23 サクシード地理（啓隆社）				
学習目標	グローバル化する現代において必要な基本的知識の定着を図り、身近な地域や世界の諸地域への興味関心を高める。また、地理的なものの見方・考え方を身に付ける。				

## 授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 2節 観光 3節 貿易と経済圏 第4章 人口、村落・都市 1節 人口・人口問題 2節 村落と都市 節 都市・居住問題 第5章 生活文化、民族・宗教 1節 衣食住 2節 民族・宗教と民族問題 3節 国家の領域と領土問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて考察する。</li> <li>増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察する。</li> <li>村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について多面的・多角的に考察する。</li> <li>生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて考察する。</li> </ul>
二学期 中間 考查まで	第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分  第2章 現代世界の諸地域 1節 中国 2節 韓国 3節 ASEAN諸国 4節 インド 5節 西アジアと中央アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて考察する。</li> <li>中国や韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。</li> <li>古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。</li> <li>近年急速に経済が成長しているインドについてや、西アジアと中央アジアについて、よりよい社会の実現を視野に地域の課題を主体的に考察する。</li> </ul>
二学期末 考查まで	6節 アフリカ  7節 EU諸国  8節 ロシア  9節 アメリカ合衆国  10節 ラテンアメリカ  10節 オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> <li>北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を考察する。</li> <li>ヨーロッパやロシアについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。</li> <li>移民国家としての多様性を持ち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。</li> <li>かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて考察する。</li> <li>南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を考察する。</li> </ul>
学年末 考查まで	第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 1節 将来の国土の在り方 2節 持続可能な国土像の探究	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組みればよいかについて考察する。</li> <li>現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて考察する。</li> </ul>
評価方法	<b>【知識・技能】</b> 定期考查・小テスト <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 定期考查・小テスト・課題の取組・発表内容 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 課題の取組・グループワーク・ノート整理 以上の3観点から総合的に評価する。	

# 令和6年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
数 学	数 学 Ⅲ	3	理数系	選 択	3
使用教科書 副教材等	高等学校 数学Ⅲ（数研出版）				
学習目標	極限、微分法及び積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

## 授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第2章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限  第3章 微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数  第4章 微分法の応用 第1節 導関数の応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限が求められるようにする。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察できるようにする。</li> <li>数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。</li> <li>微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それらを導関数の計算に活用できるようにする。</li> <li>導関数の定義や公式を適用して、いろいろな関数の導関数を導き、それをを用いて関数が微分できるようにする。また、陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし、それらを事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。</li> </ul>
二学期中 間考查まで	第4章 微分法の応用 第2節 いろいろな応用  第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、点の運動や近似式についても理解し、導関数を様々な方法で活用する姿勢を育てる。</li> <li>様々な関数の不定積分やその計算法則を、導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。</li> <li>様々な関数の定積分を求められるようにする。また、定積分を面積として捉え、様々な事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>定積分を活用して、面積、体積、曲線の長さなどを求められるようにし、またそれらを通じて定積分の理解をさらに深める。</li> </ul>
一学期末 考查まで	復習、応用問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。</li> </ul>
学年末 考查まで	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試問題等を利用して問題演習を行い、既習事項の定着を図る。</li> </ul>
評価方法	<b>【知識・技能】</b> 授業・課題・単元テスト・定期考査等で判断する。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 授業中の解答状況や発表、課題、定期考査等で判断する。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 出席状況、授業態度、授業中の発表、提出物等の状況等で判断する。	

## 令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
数学	数学C	3	理数系	必修	2
使用教科書 副教材等	高等学校 数学C (数研出版)				
学習目標	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

### 授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期末 考查まで	第2章 空間のベクトル 空間のベクトル  第3章 複素数平面 複素数平面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また、それに関連して、座標空間における点や図形について考察できるようにする。</li> <li>複素数平面において複素数の演算がどのように表されるかを理解し、図形を用いて複素数の計算を考察するとともに、図形の考察に複素数の計算を活用できるようにする。</li> </ul>
二学期中 間考查まで	第4章 式と曲線 第1節 2次曲線  第2節 媒介変数表示と極座標	<ul style="list-style-type: none"> <li>放物線、楕円、双曲線の定義や性質を理解し、それらを図示したり、問題の解決に活用したりできるようにする。また、離心率を用いて2次曲線を統一的に捉えられるようにする。</li> <li>曲線が媒介変数を用いて表される仕組みを理解し、様々な曲線の媒介変数表示について考察できるようにする。また、極座標の仕組みについて理解し、図形を極方程式で表したり、極方程式が表す図形を求めたりできるようにする。さらに、コンピュータを用いるなどして、様々な曲線についてその方程式や概形について、主体的に考察しようとする姿勢を養う。</li> </ul>
一学期末 考查まで	復習、応用問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。</li> </ul>
学年末 考查まで	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試問題等を利用して問題演習を行い、既習事項の定着を図る。</li> </ul>
評価方法	<p>【知識・技能】 授業・課題・単元テスト・定期考査等で判断する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 授業中の解答状況や発表、課題、定期考査等で判断する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、授業態度、授業中の発表、提出物等の状況等で判断する。</p>	

## 令和6年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
数 学	数学探究C	3	理数系	必 修	2
使用教科書 副教材等	数学探究プリント				
学習目標	数学的スキルや知識を学習し、身に付けさせるとともに数学への興味関心を喚起し、数学研究に取り組む姿勢を養う。				

### 授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期 期末考査まで	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試問題等を利用して問題演習を行い、既習事項の定着を図る。その時に、数Ⅱ・Bを理解するために、数Ⅰ・Aを復習することもある。</li> </ul>
二学期 中間考査まで	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試問題等を利用して問題演習を行い、既習事項の定着を図る。その時に、数Ⅱ・Bを理解するために、数Ⅰ・Aを復習することもある。</li> </ul>
二学期 期末考査まで	復習、応用問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。</li> </ul>
学年 末考査まで	復習、応用問題演習  総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。</li> <li>入試問題等を利用して問題演習を行い、既習事項の定着を図る。</li> </ul>
評価 方法	<b>【知識・技能】</b> 授業・課題・単元テスト・定期考査等で判断する。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 授業中の解答状況や発表、課題、定期考査等で判断する。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 出席状況、授業態度、授業中の発表、提出物等の状況等で判断する。	

## 令和6年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
数 学	数学探究D	3	理数系	選 択	3
使用教科書 副教材等	数学探究プリント、4プロセス数学Ⅰ+A、Ⅱ+B、C（数研出版）、チャート式数学Ⅰ+A、Ⅱ+B、C（数研出版）				
学習目標	図形と方程式、いろいろな関数、微分、積分、数列、ベクトルについての理解を深め、基礎的な知識と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばし、数学的な見方や考え方のよさを認識させる。				

### 授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	式と証明・複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数・対数関数 微分法と積分法	<ul style="list-style-type: none"> <li>整式及び分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。</li> <li>高次方程式について考える技能を養う。</li> <li>図形を解析幾何学的方法で扱えるようにし、軌跡の考え方を理解する。</li> <li>いろいろな関数について、その特徴を理解し、応用力をつける。</li> <li>微分法と積分法の関係を理解し、グラフ、面積、体積に利用する技能を養う。</li> </ul>
二学期中 間考查まで	数列 統計的な推測 数と式 2次関数 図形と計量 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>数列について理解し、様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。</li> <li>統計の見方や考え方を理解し、応用力を身につける。</li> <li>いろいろな計算の技能を養い、応用できるようにする。</li> <li>最大・最小について理解し、2次方程式や2次不等式を活用する技能を養う。</li> <li>三角比のいろいろな公式を用いて、値を求める技能を養う。</li> <li>データを整理・分析し、傾向を把握するための基礎的な知識や技能を身に付ける。</li> </ul>
二学期末 考查まで	場合の数と確率 図形の性質 復習、応用問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>個数の処理や確率の考え方を理解し、応用力を身に付ける。</li> <li>図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。</li> </ul>
学年末 考查まで	復習、応用問題演習 総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。</li> <li>入試問題等を利用して問題演習を行い、既習事項の定着を図る。</li> </ul>
評価方法	<p>【知識・技能】授業・課題・単元テスト・定期考査等で判断する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】授業中の解答状況や発表、課題、定期考査等で判断する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】出席状況、授業態度、授業中の発表、提出物等の状況等で判断する。</p>	

# 令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
理科	物理	3年	理数系	選択	5
使用教科書・副教材等	高等学校 物理 (第一学習社)				
学習目標	物理的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を育成する。				

## 授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考查まで	第Ⅲ章 電気と磁気 第1節 電場と電位 電場 電位 コンデンサー 第2節 電流 電流と抵抗 直流回路 半導体  第3節 電流と磁場 磁場 電流が磁場から受ける力 ローレンツ力  第4節 電磁誘導と交流 電磁誘導 交流 電磁波	<ul style="list-style-type: none"> <li>電荷同士が及ぼす力、電場の表し方、電場と電位差との関係を学習する。</li> <li>コンデンサーの原理、はたらきを学習する。</li> <li>直流回路について電流、電圧、抵抗の関係を学習する。</li> <li>半導体の性質について学習する。</li> <li>電流と磁場との関係を定性、定量的に学習する。</li> <li>荷電粒子が磁場中で運動する際、磁場から受ける力についても学習する。</li> <li>磁束の変化、導線が磁束を横切る際生じる誘導起電力を学習しながら、電磁誘導を理解する。</li> <li>交流の基本的な性質と交流におけるコイル、コンデンサーの役割、現象について学習する。</li> </ul>
二学期中間 考查まで	第Ⅳ章 原子 第1節 電子と光 電子 光の粒子性 X線 粒子の波動性 第2節 原子と原子核 原子の構造 原子核と放射線 核反応と核エネルギー 素粒子と宇宙	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラザフォードの原子模型を通して原子構造を学習する。</li> <li>放射線の種類や<math>\alpha</math>崩壊と<math>\beta</math>崩壊について理解する。</li> <li>核反応と核エネルギーについて学習する。</li> <li>素粒子の種類とその性質について学習する。</li> </ul>
二学期期末 考查まで	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践形式の演習を行う。</li> </ul>
学年末 考查まで	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践形式の演習を行う。</li> </ul>
評価方法	【知識・技能】 定期考查・小テスト等で評価する。 【思考・判断・表現】 定期考查、実験レポート等で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物、実験レポート、授業中の態度等で評価する。	



# 令和6年度 学習シラバス

教科 理科	科目 化学	履修学年 3年	コース 理数系	履修区分 必修	単位数 4
使用教科書 ・副教材等	化学（数研出版） 化学基礎・化学実験ノート（愛媛県高等学校教育研究会理科部会化学部門） セミナー化学基礎＋化学（第一学習社） 化学重要問題集—化学基礎・化学（数研出版）				
学習目標	無機・有機化合物を中心に、自然現象や身近な生活の中で利用されている物質の分類と特徴を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。				

## 授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考査まで	第3編 無機物質 第2章 金属元素（Ⅰ）—典型元素 第3章 金属元素（Ⅱ）—遷移元素  第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>無機物質の中の非金属元素・典型金属元素の性質について、それぞれの特徴や性質を学ぶ。</li> <li>無機物質の中の遷移元素の性質について、それぞれの特徴や性質を学ぶ。</li> <li>無機物質が我々の生活の中にどのように利用されているかについて学ぶ。</li> <li>有機化合物の一般的な性質や構造を理解し、分類や分析の仕方を学ぶ。</li> <li>酸素を含む有機化合物であるアルコールやエーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、油脂などについて、構造や性質を学ぶ。</li> </ul>
一学期中間 考査まで	第4章 芳香族化合物  第5編 高分子化合物 第1章 高分子化合物の性質 第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>芳香族化合物をはじめ、芳香族化合物の性質を学ぶ。</li> <li>天然高分子化合物とそれを構成している化合物の構造や性質について、化学的な側面から学ぶ。</li> <li>石油から人工的に作られた合成繊維とプラスチックの製法やその構造、性質、使用用途などを学ぶ。</li> <li>生活を豊かにした高分子化合物の構造や性質について学ぶ。</li> </ul>
一学期期末 考査まで	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>受験に対応した基本的な問題を網羅し、化学の知識を整理し、理解を深める</li> <li>共通テスト化学の問題を解き、受験における実戦力を高める。</li> </ul>
学年末 考査まで	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学個別の記述試験に対応できる実戦力を身に付ける。</li> </ul>
評価方法	<b>【知識・技能】</b> 小テスト、定期考査、ノートの記述、観察・実験の態度、実験プリントの記述で評価 <b>【思考・判断・表現】</b> 授業発表、観察・実験の態度、ノートの記述、定期考査等で評価 <b>【主体的に取り組む態度】</b> 出欠状況、授業態度、授業発表、ノート等の整理状況で評価	

# 令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
理科	生物	3年	理数系	選択	5
使用教科書 副教材等	改訂 高等学校 生物（第一学習社） 生物 実験ノート・問題集 2023・2024（愛媛県高等学校教育研究会理科部会生物部門）				
学習目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察、実験等を行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。				

## 授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期末 考查まで	第3編 遺伝情報の発現と発生 第6章 遺伝子の発現調節と発生 第1節 遺伝子の発現調節 第2節 発生と遺伝子の発現  第7章 遺伝子を扱う技術とその応用 第1節 遺伝子を扱う技術  第2節 遺伝子を扱う技術の応用  第4編 生物の環境応答 第8章 動物の反応と行動 第1節 刺激の受容と反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺伝子の発現調節のしくみを理解させる。</li> <li>・ 動物において1個の受精卵から複雑なからだ形成される過程を理解させる。</li> <li>・ 発生の過程における分化を遺伝子の発現調節と関連付けて理解させるとともに、発生に関わる遺伝子の共通性について理解させる。</li> <li>・ 遺伝子の単離と増幅、遺伝子の構造や発現の解析方法、遺伝子の機能を解析する方法について、その原理と有用性を理解させる。</li> <li>・ 遺伝子を扱う技術の有用性と課題を理解させる。</li> <li>・ 刺激の受容と反応において、受容器による刺激の受容から神経系を介して、効果器で反応が起こるまでのしくみを、関与する細胞の特性と関連づけて理解させる</li> </ul>
二学期中 間考查まで	第2節 動物の行動  第9章 植物と環境 第1節 植物と環境 第2節 植物の一生とホルモン 第5編 生態と環境 第10章 生態系のしくみと人間の関わり 第1節 個体群と生物群集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動物の行動には、生得的行動と習得的行動があることを学習し、これらを神経系における情報の流れと関連付けて理解させる。具体的な神経回路を用いながら理解させる。</li> <li>・ 植物の成長や反応に植物ホルモンが関わっていることを理解させる。</li> <li>・ 被子植物の配偶子形成と受精、胚発生の過程を理解させるとともに、植物の一生における光受容ホルモンによる植物の環境応答のしくみを理解させる。</li> <li>・ 個体群や生物群集が維持されるしくみや、個体間や個体群間の関係性を見出して理解させる。</li> </ul>
二学期末 考查まで	第2節 生態系の物質生産と消費  第3節 生態系と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生態系における物質生産とエネルギーの移動を生態系での炭素や窒素の物質循環と関連づけて理解させる。</li> <li>・ 人間生活が生態系に及ぼす影響を見だし、理解させる。</li> </ul>
学年末 考查まで	総合問題復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題演習を通して知識や理解を確認し、他の単元と関連させながら総合的な生物の学力を身につける。</li> </ul>
評価方法	<b>【知識・技能】</b> <b>【思考・判断・表現】</b> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>	小テスト、定期考査等で評価する。 定期考査、実験ノート等の内容で評価する。 授業態度及び発表、実験ノート・提出物等の内容で評価する。

# 令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
保健体育	体育	3	英語系・人文系 医療看護系・ 理数系	必修	2
使用教科書 ・副教材等	現代高等保健体育（大修館書店）				
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。				

## 授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考查まで	<p>体づくり運動</p> <p>球技Ⅰ（下記の種目から1種目を選択） 「ハンドボール」 「サッカー」 「バスケットボール」 「テニス」 「バドミントン」「卓球」 「バレーボール」「ソフトボール」</p> <p>体育理論 「豊かなスポーツライフの設計Ⅰ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央高校体操、体ほぐしの運動などを通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素などを理解できるようにする。</li> <li>ゴール型、ネット型、ベースボール型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</li> <li>球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。</li> <li>豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする</li> </ul>
一学期中間 考查まで	<p>ダンス 「日本の民謡（ソーラン節）」</p> <p>球技Ⅱ（下記の種目から1種目を選択） 「ハンドボール」 「サッカー」 「バスケットボール」 「テニス」 「バドミントン」「卓球」 「バレーボール」「ソフトボール」</p> <p>体育理論 「豊かなスポーツライフの設計Ⅱ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>躍動的な動きや手振り、腰を落とした動きなどの特徴をとらえて、音楽に合わせて踊ることができるようにする。</li> <li>ゴール型、ネット型、ベースボール型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</li> <li>球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。</li> <li>豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。</li> </ul>
学年末 考查まで	<p>球技Ⅱ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール型、ネット型、ベースボール型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</li> <li>球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>
評価方法	<p>【知識・技能】行動観察（運動の特性やルールなどの理解）、スキルテストやペーパーテストなどで評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】授業中の発表、行動観察、ワークシートの記述内容などで評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】出欠状況、授業態度、授業中の発表などで評価する。</p>	

# 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
外国語	英語コミュニケーションⅢ	3	英語系・人文系・ 医療看護系・理数系	必修	4
使用教科書 ・副教材等	BIG DIPPER English CommunicationⅢ (数研出版)				
学習目標	英語によるコミュニケーションにおいて、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの統合的な言語活動を通して、情報や考えを理解したり表現したり、伝え合ったりする資質や能力を高める。				

## 授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考查まで	<b>Section I</b> Lesson1 is the Meat Real of Fake? Lesson2 Let's Have a Healthy Lesson3 My Opinion of Zoos Lesson4 The History of Ekiben Lesson5 Three Tips for Maintaining a Conversation Lesson6 The History of Recorded Music Lesson7 Online Word-of-Mouth Lesson8 After the Flowers Lesson9 Hot Springs at Home and Abroad Lesson10 Kintsugi Lesson11 Art on Display Lesson12 Can You Manage Your Anger? Lesson13 Crowdfunding Lesson14 A New Orchestra and a New Harmony	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代替肉が注目される理由や今後の課題について、英文から読み取る。</li> <li>・筋力トレーニングの効果や注意点についての英文から、語彙を学ぶ。</li> <li>・動物園の存在に対する賛成・反対の意見について、英文から読み取る。</li> <li>・駅弁の歴史などについての英文から、語彙を学ぶ。</li> <li>・会話を続けるコツなどについて、英文から読み取る。</li> <li>・記録音楽の歴史などについての英文から、語彙を学ぶ。</li> <li>・飲食店に対する口コミ評価などについて、英文から読み取る。</li> <li>・植物の生存戦略などについての英文から、語彙を学ぶ。</li> <li>・日本と海外の温泉地の違いなどについて、英文から読み取る。</li> <li>・日本の伝統技術「金継ぎ」についての英文から、語彙を学ぶ。</li> <li>・博物館の営業管内リーフレットについて、英文から読み取る。</li> <li>・怒りの感情をコントロールする方法についての英文から語彙を学ぶ。</li> <li>・クラウドファンディングの利点・欠点について、英文から読み取る。</li> <li>・パラグアイの新しいオーケストラについての英文から、語彙を学ぶ。</li> </ul>
二学期中間 考查まで	<b>Section II</b> Lesson15 Instant Replay in Sports Lesson16 Endangered Languages Lesson17 Is This the Right Way to Protect the Environment? Lesson18 The Shoe That Grows	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツのビデオ判定システムについて、英文から読み取る。</li> <li>・危機言語のおかれた状況についての英文から、語彙を学ぶ。</li> <li>・環境を守るためのさまざまな試みについて、英文から読み取る。</li> <li>・アフリカの教育事情や「成長する靴」についての英文から、語彙を学ぶ。</li> </ul>
二学期期末 考查まで	<b>Section II</b> Lesson19 Fake News Lesson20 Human Society and Infectious Diseases <b>Section III</b> Lesson21 Having a Discussion Lesson22 Writing a Summary 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイクニュースの特徴とそれが生まれる要因について、英文から読み取る。</li> <li>・人間社会の発展と感染症の関係についての英文から、語彙を学ぶ。</li> <li>・顔認証技術について、英文から読み取る。</li> <li>・ハリエット・タブマンの生涯についての英文から語彙を学ぶ。</li> </ul>
学年末 考查まで	Lesson23 Question-and-Answer Session Lesson24 Writing a Summary 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の地震災害と防災について、英文から読み取る。</li> <li>・「永遠に生きる方法」についての英文から、語彙を学ぶ。</li> </ul>
評価方法	<b>【知識及び技能】</b> 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステストで評価する。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステストで評価する。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 出席状況・授業態度・授業中の発表・ペアワーク・課題の提出状況で評価する。	

# 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
外国語	論理・表現Ⅲ	3	英語系・人文系・ 医療看護系・理数系	必修	2
使用教科書 ・副教材等	APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION III (開隆堂) Next Stage 英文法・語法問題 (桐原書店)				
学習目標	「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」及び「書くこと」を中心とした発信能力を強化する。より多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、意見、主張などを論理の構成や展開を工夫して、伝えるまたは伝え合うことができる。				

## 授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考查まで	Lesson 1 What Are You Going to Do during the Golden Week Holidays? Lesson 2 What Do You Want to Do in the Future? Lesson 3 Suggest a New Style of Traveling Lesson 4 Communicating Your Requests Lesson 5 Thank You for Your Support Lesson 6 How to Complain Politely	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定/意図/確信/希望・願望を表す表現を学ぶ。</li> <li>・ゴールデンウィークの計画について紹介する。</li> <li>・好き・嫌い/得意・不得意/個人的感想を表す表現を学ぶ。</li> <li>・将来就きたい職業とその理由や重視するポイントについて紹介する。</li> <li>・提案・助言/必要性・義務/勧誘/受諾・辞退を表す表現を学ぶ。</li> <li>・エコツーリズムの必要性や具体的方法などについて、ペアやグループで話し合う。</li> <li>・依頼/要請/許可を表す表現を学ぶ。</li> <li>・プレゼンテーション大会に関する要望などについてEメールを作成する。</li> <li>・感謝/祝福・喜び/同情/心配・懸念を表す表現を学ぶ。</li> <li>・感謝や祝福などの気持ちについて手紙で伝える。</li> <li>・苦情/謝罪/譲歩を表す表現を学ぶ。</li> <li>・自分が置かれている状況や要望について伝える。</li> </ul>
二学期中間 考查まで	Lesson 7 My Specialty Lesson 8 My Special People and Places	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間的順序/空間的配列・方向/数量(比較)/方法・様態を表す表現を学ぶ。</li> <li>・自分が得意な料理のレシピを発表する。</li> <li>・人物や事物に関する描写・説明を表す表現を学ぶ。</li> <li>・自分が行きたい国などについて理由を挙げながら発表する。</li> </ul>
一二期期末 考查まで	Lesson 9 Paragraph Writing Lesson 10 Presentation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラグラフの構造や特徴の理解をもとに、共働きの家庭について、順序立ててパラグラフを書く。</li> <li>・自分の考えを、プレゼンテーションで使用するスライドにまとめる方法の理解をもとに、SNSについての的確に説明する。</li> </ul>
学年末 考查まで	Lesson 11 Discussion Lesson 12 Debate	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスカッションで使用する表現の用法の理解をもとに、介護ロボットについての自分の考えをまとめ、発表する。</li> <li>・ディベートで使用する表現の用法の理解をもとに、賛成派あるいは反対派の立場からガソリン車の生産停止についてディベートをする。</li> </ul>
評価 規準	<p>【知識・技能】 小テスト、定期考查等で評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 発表、小テスト、定期考查、提出課題で評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 出欠状況、授業態度、発表(スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション)、提出課題、ノートの整理で評価する。</p>	

# 令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
情報	情報探究	3	英語系 人文系 医療看護系 理数系	必修	1
使用教科書 副教材等	情報探究 令和6年度版 (愛媛県立松山中央高等学校 情報科)				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報技術やデジタルリテラシーへの理解を深め情報を扱う能力を向上させる。</li> <li>プログラミングの構文を学ぶことで、アルゴリズム的思考や問題解決能力を養う。</li> <li>オンラインセキュリティの基本的な概念を理解し、法的な規制や倫理について学ぶ。</li> </ul>				

## 授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 末 考 査 ま で	<p>プログラミング アルゴリズムとその表記 プログラミングの方法</p> <p>配列と関数 探索と並び替え</p> <p>デジタル 2進数と情報量 演算の仕組み メディアのデジタル化</p> <p>コンピュータの仕組み</p> <p>ネットワーク 情報通信の取り決め</p> <p>Webページとメールの仕組み</p> <p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルゴリズムをフローチャートなどの図で表現できる。</li> <li>変数を使用した選択構造や反復構造の簡単なプログラムを作成できる。</li> <li>配列を使用して反復構造等のプログラムを理解している。</li> <li>探索および整列のプログラムを理解している。</li> <li>情報量を適切な単位で表現したり、変換したりできる。</li> <li>論理回路による演算の仕組みについて理解している。</li> <li>数値・文字・音声・画像の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。</li> <li>コンピュータの計算の仕組みについて、順序だてて説明することができる。</li> <li>インターネット通信の階層構造、各プロトコルの働きについて説明することができる。</li> <li>WWWや電子メールなど、インターネットのサービスの内容と仕組みを説明することができる。</li> <li>デジタル署名、電子認証などに応用されている暗号化の方式と仕組みについて説明することができる。</li> </ul>
二学期末 末 考 査 ま で	<p>データの扱い データの収集と整理</p> <p>関数とグラフ</p> <p>リレーショナルデータベース</p> <p>モデル化とシミュレーション モデル化の手順</p> <p>動的モデルのシミュレーション</p> <p>確率的モデルのシミュレーション</p> <p>総合演習問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの種類と尺度水準について理解し、収集したデータを整理することができる。</li> <li>グラフの種類や機能を理解し、表計算ソフトウェアを用いてデータをグラフ化することができる。</li> <li>データベースの意味と必要性を理解し、リレーショナルデータベースの機能について説明することができる。</li> <li>問題を整理したり、構造を明らかにしたりするために、モデルを作成することができる。</li> <li>動的に変化する現象について、図的モデルや数式モデルで表すことができる。</li> <li>確率的モデルをコンピュータでシミュレーションする方法を説明することができる。</li> <li>既習事項が定着している。</li> </ul>
1月 末 ま で	総合演習問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項が定着している。</li> </ul>
評価 方 法	<p>【知識・技能】：定期考査で評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】：定期考査で評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】：授業態度、授業内容の理解、副教材の整理状況等で評価する。</p>	